

平成25年度県立大学地域貢献研究の研究成果について（ 完了報告 ・中間報告 ）

研究テーマ	北陸新幹線の県内延伸による沿線各市のまちづくりへの影響に関する研究
研究期間	平成 25 ～ 25 年度
主たる研究者	【学部・学科】 地域経済研究所                      【職・氏名】 江川誠一
<p>○研究目的</p> <p>北陸新幹線の福井県内の区間については、平成23年12月に政府から着工認可の方針が示され、平成24年8月に着工された。本県においては、その受入体制が検討されるべき時期に入ったと言える。現時点で概ね13年後の開通が見込まれており、2年後の金沢開業を踏まえた対策が短期的に求められるとともに、13年後を見据えた中長期的なまちづくりを検討するチャンスでもある。</p> <p>本県の石川県境から敦賀までの区間では、6市1町を通るとともに、芦原温泉、福井、(仮)南越、敦賀の4駅が設置される。在来線特急の停車駅である武生駅には新幹線の駅は設置されず、同駅の位置する越前市には北陸自動車道武生インターチェンジ側に(仮)南越駅が設置される。また、鯖江市内、坂井市内には駅が設置されない。また、速達型の新幹線が停車する駅は限定されることが予想される。このように現状とは異なる特性を持つ高速鉄道が導入されることにより、本県及び沿線各市のまちづくりは大きな影響を受けることが想定される。</p> <p>そこで、本調査研究は、東北や九州における事例調査、沿線6市等に対するヒアリング調査等を行い、北陸新幹線の整備によるまちづくりの変化を調査研究することにより、それぞれの都市におけるまちづくりの方向性に資することを目的として実施する。</p>	

# ○研究成果

## ■北陸新幹線延伸による福井県全体へのインパクト

### まとめ

#### インパクト(チェンジとチャンス)

- ①高速列車の停車駅が変わる
- ②沿線のハード整備を行うチャンス
- ③在来線の位置づけが変わる
- ④戦略的に交通体系を見直すチャンス
- ⑤高速列車の乗客が変わる
- ⑥低成長時代における都市間競争に備えるチャンス

- ・新幹線ネットワークの仲間入りを果たし、首都圏等とのアクセス性が向上することは事実であるが、他の地域と競争するスタートラインに立つに過ぎない
- ・不便になるあるいは負担が増えるような地域、分野も存在する

- ・北陸新幹線の県内延伸は環境が整うだけであり、それだけで効果は発現せず、効果を発揮するために各地域が積極的に取り組むことが重要
- ・県内開業に至るまでに金沢開業が控えており、短期的に行うことや中長期的に行うことを整理する必要。また、様々な主体による積極的な取り組みを支援し、適切な連携と役割分担を行う必要
- ・デメリットを十分認識した上でそれを減じるような方策も必須

## ■沿線各市のまちづくりの方向性\_あわら市

### まちづくりの方向性

1. あわら温泉の強みを発掘・創造する。
2. 嶺北の観光地と連携し、広域周遊ルートにあわら温泉を組み込む。
3. 芦原温泉駅とあわら温泉の連携を強化し、車以外でのアクセスにもこれまで以上に気を配る。
4. 首都圏等からの新規顧客への対応を図るとともに、従来の県内、京阪神、中京からの顧客も大事にする。

## ■沿線各市のまちづくりの方向性\_坂井市

### まちづくりの方向性

1. 芦原温泉、あわら市との連携を強化する。
2. 芦原温泉駅とのアクセスを強化する。
3. 三国や丸岡における観光まちづくりを推進する。
4. 食を生かした地域活性化策を推進し、ブランド化を図る。  
・観光関連産業への恩恵が幅広い業種に波及することや、地産地消の取組が地域への経済波及効果をさらに高めること、そして経済的な効果のみならず社会的な効果(地元への誇りと愛着の醸成、高齢者等の生きがいづくり、遊休資源の活用・保全等)を生むことを理解し、市民全体で共有していくことが重要である。

## ■沿線各市のまちづくりの方向性\_福井市

### まちづくりの方向性

1. 金沢開業後の金沢への入込客増を福井駅まで取り込む仕掛けをする。
2. 福井県の顔としての役割を強化する。
3. 多様な人々が多様な目的で集うという理念を今一度見直す。
4. 県内各地へのアクセスを見直す。

## ■沿線各市のまちづくりの方向性\_鯖江市

### まちづくりの方向性

1. 高速交通へのアクセスを確保する。
2. 新幹線の駅がなくても、わざわざ訪れたいくなるような魅力を創出する。
3. 協働のまちづくりを推進し、ソフト・ハード両面における鯖江市のへそを再構築する。
4. 三大地場産業を中心に、ものづくりをベースにした様々な交流の活性化を図る。

## ■沿線各市のまちづくりの方向性\_越前市

### まちづくりの方向性

1. 丹南地域の玄関口として(仮)南越前駅周辺を位置づけ、適切な周辺整備を図る。
2. 武生駅周辺を引き続き越前市の中心と位置づけてまちづくりを進める。
3. (仮)南越前駅への市内からのアクセスを確保する。
4. 伝統工芸等の集積等を生かし、観光地としての魅力を高める。

## ■沿線各市のまちづくりの方向性\_敦賀市

### まちづくりの方向性

1. 交通の結節点(終着駅、東京の対極点)としての位置づけを生かしたPRを進める。
2. 港町敦賀として一体となったまちづくりを進める。
3. 長野・北関東や富山・石川をターゲットにした誘客を推進する。
4. 嶺南地域の玄関口としての位置づけの強化を図り、適切な整備を進める。